

2019 年 4 月 18 日／第 3 号
独立行政法人国際協力機構（JICA）
ブラジル事務所・サンパウロ出張所

JICA Brazil Business Communication

～ブラジルの第一線で活躍するビジネスパーソンの皆様へ～

目次

1. 民間企業との連携

- (1) 日系ビジネスリーダー招へい報告会を開催
- (2) (株)東洋高圧がアマゾン連邦農牧大学へ高圧処理機を寄贈
- (3) 日本無線(株)がパラナ州市民防災局にてセミナー開催（4月22日）
- (4) 「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」公示開始

2. トピックス

- (1) 日本開発研究プログラム（フジタ・ニノミヤチェア）の講義開始
- (2) パラー州新知事との会談
- (3) 帰国研修員同窓会会合にて事務所長感謝状を贈呈

《今後の主なイベント》

4月22日：日本無線(株)による防災セミナー @パラナ州防災局

4月30日：しまね国際センター&カサパーバ市による環境教育セミナー @ジャパンハウス

【コラム】

～キン・カタギリ議員がYoutubeでJICA協力を語る～

ブラジル連邦下院議員のキン・カタギリ氏がYoutubeを通じてJICA協力について言及して頂いており、**4.3万回の視聴回数**（2019年4月15日時点）を獲得しているため、下記リンクをご紹介します。

<http://youtu.be/7M-tLrFRPhM>

キン・カタギリ氏は昨年10月の選挙にて22歳の若さで当選し、議員となる前から発信力のある人物として有名です。4月4日、当事務所長の佐藤が着任挨拶のため同議員を訪問し、JICA事業について説明をしたことを踏まえ、今回のYoutubeでの発信に繋がりました。

動画では特に、JICAが実施した**交番プロジェクト**について好意的に取り上げて頂きましたが、同プロジェクトの成果は4月12日に署名された「地域警察国家指針」にも盛り込まれました。（詳細は下記リンクをご参照ください。）

「ブラジル、治安改善へ「日本式」導入＝交番制度や地域巡回展開へ（時事通信、Yahoo ニュース）」

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190413-00000093-jij-int>

1. 民間企業との連携

(1) 日系ビジネスリーダー招へい報告会を開催

3月7日、JICA サンパウロ出張所にて、食品加工・飲食業分野の本邦招へい者3名による「日系ビジネスリーダー招へい報告会」を行い、ブラジル日本商工会議所（食品部会関係者等）、JETRO、若手日系グループ、現地メディアら約30名が参加しました。



報告会の様子

この招へいプログラムは、初の試みとして「食」をテーマとし、日本食品販売や食品加工、レストラン経営に関わる南米日系企業代表者が来日しました。ブラジルからは3名の代表者が参加し、訪問先の長崎、福岡では食品加工工場、醤油工場、清酒・焼酎醸造、製麺所、茶園、魚市場、セントラルキッチン等を視察しました。また、福岡では招へい者と地場企業との交流会が催され、日本と南米各国との相互理解を深め、今後の連携可能性について意見交換がなされました。

JICA は今後、研修成果や波及効果のフォローを行っていく予定です。



増田製麺所の視察



大山製茶園の視察

「JICA＝「日本の職人魂に驚嘆！」＝食関連日系経営者が訪日研修＝長崎、福岡の地場企業を視察」

<https://www.nikkeishimbun.jp/2019/190322-72colonia.html>

(2) (株)東洋高圧がアマゾン連邦農牧大学へ高圧処理機を寄贈

JICA の中小企業・SDGs ビジネス支援事業の一環でブラジルで高圧処理機のニーズの調査をしている広島県の(株)東洋高圧が自社の機材をアマゾン連邦農牧大学へ寄贈し、3月25日、寄贈式が同大学のベレンキャンパスにて行われました。

(株)東洋高圧の機材は深さ1万メートル、世界で最も深いと言われるマリアナ海溝の水圧と同じ100Mpaの圧力を食品や植物にかけ、成分の抽出やエキシ化を可能にします。日本では大手育毛会社への納品、アルガンオイルや健康食品の原料納品もしています。ブラジルにおいてもプロポリス、コーヒー、植物や果実に活用すべく調査を行っています。

(株)東洋高圧によると、高圧処理機を薬効成分がある希少植物、高栄養価な果実などが多く生息しているアマゾン地域に位置するアマゾン連邦農牧大学へ寄贈することで、大学・農業組合・ブラジル民間企業の研究開発へ寄与したい、とのことです。



アマゾン連邦農牧大学代表者と



寄贈式の様子

「UFRA RECEBE EQUIPAMENTO JAPONÊS UTILIZADO PARA PROCESSAR ALIMENTOS」

https://novo.ufra.edu.br/index.php?option=com_content&view=article&id=2076

(3) 日本無線(株)がパラナ州市民防災局にてセミナー開催(4月22日)

4月22日、JICAの「パラナ州向け雨量レーダ普及促進事業」を実施中の日本無線(株)が、パラナ州市民防災局にて普及セミナーを開催します(共催:パラナ州政府)。今回のセミナーには、パラナ州知事に加え、他州の防災関係者も参加します。

より正確な雨量強度観測を可能とする同社の雨量レーダは、現在パラナ州気象局屋上に設置されており、セミナーでは、雨量レーダを活用した「土石流予警報システム」の検証結果報告も予定されています。

日本の防災技術を活かしたパラナ州政府の取り組みにご関心がございましたら、お気軽にご連絡頂ければ幸いです。



雨量レーダ開所式(パラナ州政府提供)

記

- 行事名: 「パラナ州向け雨量レーダ普及促進事業」普及セミナー
- 主催: 日本無線(株)、パラナ州市民防災局
- 日時: 2019年4月22日(月)9:00より
- 場所: パラナ州市民防災局

(4) 「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」公示開始

4月16日より「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」の提案募集が開始しました。この事業では開発途上国の課題を解決する優れた技術や製品を有する日本企業の海外展開を支援します。企画書の提出期限は5月16日です。

詳しくはこちら: https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/sme/index.html

2. トピックス

(1) 日本開発研究プログラム（フジタ・ニノミヤチェア）の講義開始

昨年 12 月の MOU 署名を踏まえ、2 月 27 日にサンパウロ大学（USP）法学部国際法・比較法学科と第一回プログラム運営委員会を開催し、年間計画等について合意しました。3 月から 6 月までの学部生の向けの比較法の講義では 12 コマ中 4 コマで日本法が扱われ、9 月から開始する大学院ゼミでは全体の半分のコマで日本法が扱われる予定です。

このプログラムは、日本の開発経験を学び研究を行う機会を提供することを通じ日本への理解を深め、親日・知日派の将来的な指導人材の育成を目的に実施しています。

(2) パラー州新知事との会談

1 月 29 日と 3 月 18 日、1 月に就任したパラー州のバルバーリョ新知事と 2 度の面談を実施。実施中の BRT 建設事業（円借款）の協議に加え、パラー州で展開中の保健分野の中小企業支援事業や地域警察、防災等の JICA 事業紹介を行いました。先方は実施中円借款事業を積極的に広報するなど、JICA 事業に対し非常に協力的な印象を受けました。また、州都ベレン市は伯国内でも殺人発生率が非常に高いことから、地域警察の取組に強い関心が示されました。双方は、今年がパラー州を含む「アマゾン地域日系移民 90 周年」でもあり、今後更に協力関係を強化することを確認しました。



(3) 帰国研修員同窓会会合にて事務所長感謝状を贈呈

3月15日、ブラジリアにて帰国研修員同窓会会合を開催し、各地6つの同窓会から代表者を集い、今年度の活動と来年度計画について議論しました。また、これまでの同窓会活動に敬意を表し、佐藤新事務所長から各同窓会に感謝状を手交しました。JICAは今後も同窓会と協力し、研修員が日本で学んだ成果をブラジル社会及び日系社会に還元する活動を推進する所存です。



以上

新年度も皆様にご関心を持って頂けるよう、内容の充実を図る所存でございます。つきましては、ご意見、ご要望等ございましたら、下記連絡先までご連絡いただければ幸いです。

今後とも引き続き、どうぞ宜しくお願い致します。

【問い合わせ・連絡先】

国際協力機構（JICA）ブラジル事務所サンパウロ出張所

担当：間瀬 将成

電話：(11)-3251-2655 (ex. 105)

Email：Mase.Masanari@jica.go.jp